

説教ワンポイント

イエスさまの平和

マタイ二・五二一

つい最近まで五輪の話題にそれほど興味はありませんでした。が、昨日偶然リオの開会式中継を観て思わず感動してしまいました。音楽や踊りで自国の歴史を表現。インディオが暮らす土地にポルトガル人がやってくる。続いてアフリカからの奴隷。シリア、アラブからの移民。百年前には日本人も。様々な移民がづくりあげたのが自分たちの国。だから良いところもあるが、問題もたくさん起こる。それを包み隠さず堂々と表現するショー。最後、カメラがズームアウトすると、それからブラジルの歴史を丘の上で手を広げずっと見守り続けたイエス様の像が大きく映し出される。「いろんなことがあるさ。でも、いつもイエス様が見守ってくれているから、大丈夫」。そんなメッセージを受け取りました。低予算のセレモニー

だからなおさら、ブラジルの人々のありのままの姿、心の中が垣間見えるように思いました。

セレモニーが日本時間の六日午前八時十五分にさしかかる頃、日本人移民のダンサーが登場しました。広島の原爆投下の時刻を覚えて。一瞬あれ？ 広島では同時刻黙祷が捧げられているのに、ここでは踊り？ 実は当初開会式でも黙祷する計画だったそうです。しかし、政治力が加わった。会場には米国選手団や関係者が大勢。明確な主張は避けた方がいい…。黙祷は撤回されました。が、演出家はこだわった。せめて日本を覚えたい…。それが先述のダンサーに。イエスに関する今日の聖句を思います。

「彼は争わず、叫ばず、その声を聞く者は大通りにはいない。(しかし)正義を勝利に導くまで、彼は傷ついた葦を折らず、くすぶる灯心を消さない」。苦難の歴史で培われた、しなやかな平和への知恵が今なお生き続けています。